

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	はーとラーニングブレイス (ほっとはーと)		
○保護者評価実施期間	R7年 2月 26日	～	R7年 3月 21日
○保護者評価有効回答数	(対象者数) 24名	(回答者数)	13名
○従業者評価実施期間	R7年 3月 3日	～	R7年 3月 21日
○従業者評価有効回答数	(対象者数) 11名	(回答者数)	9名
○事業者向け自己評価表作成日	R7年 3月 26日		

○ 分析結果

	事業所の強み (※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にしている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	心身の発達に遅れがある、またはその疑いがあると診断された児童を対象に、遊びや学習を通して発達を促し、社会との関りを増やし、広げていくことができます。	学年と性別に合わせ、5グループあります。グループごとの教室の設置と、各活動に合わせた活動スペースは今後も計画的に考え、取り組んでいきます。活動時間を30分単位で区切り、施設内の体育館や感覚統合室、シアタールーム、カラオケ室、中庭などグループ単位で活動を楽しむことができます。平日の活動と、一日利用の際の活動を計画的に立案しています。年間行事で遠足や祭り、むかばきなど年に4回は大きなイベントを計画しています。	特性について学ぶ機会を個人個人の職員の意欲に任せるだけでなく、活動の選び方や提供の仕方を職員同士でよい所を参考にし、全体的なスキルアップを目指します。 個別の対応が必要な場合があるので、専門的な知識のある職員を補充するなどして、人員の確保も併せて行います。
2	感覚統合療法や機能訓練、生活訓練を行い、児童の自立と充実した日常生活を支援できます。	感覚統合室でのボールプールや体育館活動、夏にはプールを使用し、感覚統合の機会を持っています。日常生活訓練として、排泄が自立していない子に対しては、排泄トレーニングを実施したり、入浴が不十分な子に対しては、入浴や整容訓練を実施しています。必要性については保護者や相談支援専門員とのやり取りで決定しています。	飽きることがないように年間計画を立て、イベント活動やスポーツ、戸外活動をしていきます。ただ、特性をそれぞれに持っているお子さんをお預かりし、開所時から現在までの経験を経て、活動がコロナと変わると、子供たちの混乱を招くことがあります。活動の種類や時間がずくなり、安全な空間として穏やかに過ごす事に繋がります。

3	<p>放課後等デイサービスからその先（卒業後）として、生活介護事業所やB型就労事業所があり、放デイに在籍しているときから、将来の事を考え、体験することができるところ。</p>	<p>長期休暇を利用し、職業体験に行っ将来、どんな仕事をしたいか、考える機会を持っています。 保護者説明会で、実際に卒業生の様子をご覧いただいたりして、将来像を想像する機会を持っています。</p>	<p>コロナ禍以降、積極的に職場見学に行くことを控えていたため、長期休暇を利用して、パン屋さんに体験に行ったり、食堂の見学に行ったりしたりと思います。 それ以外にも、事業所内で様々なお仕事体験をしたり、お手伝いをする機会を持ちたいと思えます。</p>
---	---	--	---

事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1 閉ざされたイメージを持たれている。（アンケートの回答としても、知らないで分からない等のコメントが多かった。） 父母の会や保護者説明会がなく、保護者同士の交流の場がなくなっている。	保護者向けの説明会はご希望のある高校生ご家族を対象に行っています。生活介護事業とB型事業・就労先の見学をしていただいております。そのほか、年に一度の祭り（はーとミュージックフェスティバル）への参加の機会はありませんが、まだまだ少ないと考えています。	オープンな事業所の雰囲気を作るように努力していきます。 来年度は保護者の方と一緒に楽しめるイベントや参観日のような行事も企画していく。 また、ブログやSNSなどの更新する機会をさらに上げ、活動の様子など見て頂けるようにする。
2 個々の職員により、対応に差が出る事があり、うまく伝えられる職員とうまく伝えられない職員がいる。	職員に対する教育がまだまだ不足している。 職員が2,3年で退職することが多く、蓄積されていく知識や経験、そして保護者さんとの関係性が継続できない事が多い。	キャリアアップ研修など積極的に外で行われている研修に参加していく。
3 利用者やそのご家族への詳しい説明が不足しているように感じる。	保護者さんに対しての直接的な説明不足がある。	緊急時（災害）の避難の際はもちろん、個別支援計画書の同意のサイン、そのほか、困っている事や現状の報告などをこまめに説明していく場面が今よりもっと必要。 定期的にご家族、保護者さんと一緒に活動するイベントの企画をし、事業所への信頼を高めたいと考える。